

令和5年度 山口県医師会有床診療所部会第1回役員会

と き 令和5年6月1日(木) 15:00～16:00

ところ 山口県医師会6階会議室

[報告：山口県医師会有床診療所部会会長 正木 康史]

伊藤真一 県医師会専務理事の司会により開会した。

挨拶

加藤智栄 山口県医師会会長 本日は有床診療所部会の役員の皆様にお集まりいただき、ありがとうございます。今年是有床診療所の前身と言われている小石川養生所が創設されて300周年にあたり、有床診療所を世界文化遺産に勧めてはどうかと、徳島県医師会から日本医師会に提案されていた。当県医師会の正木部会長は中央の方で、診療報酬改定の要望等で頑張っており、有床診療所に関しては診療報酬点数もかなり上がっていると理解している。入院機能を持った有床診療所は地域医療にとって貴重な医療施設であり、今後も存続していけるようにしていかなければならないと考える。

議題

最初に部会長の正木が「コロナ禍でわれわれの医療経営にも少なからず影響を与えたかと思うが、新型コロナウイルス感染症もこの5月8日より5類移行となり、われわれも通常の診療体制を取り戻していかなければならない。また、昨今の光熱費を中心とした物価上昇は著しいものが

あり、われわれの医療経営に打撃を与えている。この物価高騰は国民の生活水準の低下をもたらしており、一般企業では3～5%、あるいはそれ以上の大幅な賃金上げが実施されているが、当然われわれ医療従事者に対しても同程度の賃金上げを行う必要があり、来年度に控えた診療報酬改定ではそのことを反映した成果を勝ち取らなければならないと考える」と挨拶し、議事に入った。

1. 令和4年度事業報告(案)について

今秋開催予定の部会総会に諮った後に詳しく報告するが、主な事業として、県医師会関係では、年1回の総会(令和4年10月6日)、年2回の役員会(令和4年6月9日及び10月6日)、全国有床診療所連絡協議会の関係では、第35回全国有床診療所連絡協議会総会(山梨)、4回の役員会、1回の常任理事会、1回の自民党「有床診療所の活性化を目指す議員連盟」総会、厚労省(医政局長、保険局長)訪問・懇談・要望、加藤勝信衆議院議員(議連会長、厚生労働大臣)講演会(東京)・政経セミナー(岡山)への参加、岸信千世氏との面談・推薦状手交などを行った。全国有床診療所連絡協議会中国四国ブロック会関係では、広島県医師会からWeb形式での総会・役員会・講演会(令和5年1月15日)、1回の臨時役員

出席者

部会

部会長 正木 康史
副部会長 阿部 政則
理事 吉永 榮一

理事 樫田 史郎
理事 林田 英嗣
理事 伊藤 真一

県医師会

会長 加藤 智栄
常任理事 前川 恭子

会（令和4年9月28日、Web）を開催した、その他、正木が日医社会保険診療報酬検討委員会に委員として出席した。

2. 令和5年度事業計画（案）について

事業計画（案）として、総会と2回の役員会の開催、第36回全国有床診療所連絡協議会総会（福島）、中国四国ブロック会総会や全国有床診療所連絡協議会役員会・常任理事会への参加などを予定している。また、正木が自民党議連会議や日医社会保険診療報酬検討委員会などに出席し、必要な情報はいち早く部会員に伝達する。

3. 令和5年度総会について

令和5年度総会は令和5年9月21日（木）に県医師会館において、15時20分から開催することを決定した。令和4年度事業報告、令和5年度事業計画（案）などについての協議を行う予定である。

4. 正木部会長からの報告

1) 令和6年度（2024年度）診療報酬改定に対する要望

この3月に全国有床診療所連絡協議会より各都道府県の協議会に要望項目の取りまとめをお願いしたところ、全国15協議会より90項目もの要望を提出していただいた。提出いただいた項目の中で特に有床診療所に関連した要望を、日医提出要項に準じて10項目の要望に正木が取りまとめ、5月の日医社会保険診療報酬検討委員会に要望書を提出した。

昨今の光熱費を中心とした物価上昇は著しく、国民の生活水準の低下をもたらしており、一般企業では3～5%、あるいはそれ以上の大幅な賃金引上げが行われているが、当然、われわれ医療従事者に対しても同程度の賃金引上げが行われなければならない、それを可能とする基本診療料（初・再診料、入院基本料）の大幅な引上げを強く要望していく方針である。また、食材費や人件費の負担が大きくなっている入院時食事療養費の引上げも要望項目に挙げている。

2) 日医社会保険診療報酬検討委員会報告

中医協では、令和6年度診療報酬改定に向けた検討の進め方として、ポスト2025年も見据えたトリプル改定であることからして、①ポスト2025年の医療・介護提供体制の姿の取りまとめ、②新興感染症への対応、③医療DXの推進等の検討が予定されている。

今後医療DXが進められていくが、その骨格は①「全国医療情報プラットフォーム」、②電子カルテ情報の標準化、標準型電子カルテの検討、③「診療報酬改定DX」となっている。

5. その他

自民党内に「有床診療所の活性化を目指す議員連盟」を立ち上げていただいております、われわれの政府（特に厚労省）に対しての要望実現に向けて、力強い後押しをしていただいているが、政治は数が力となることから、部会員の選挙区の国会議員に対して、議連未加入であれば議連への入会を勧めていただくよう正木よりお願いした。

加藤県医師会会長より、光熱費高騰に関連して、この度、県より補助金支給（有床診療所10万円プラス3万円×病床数）が実施されることとなったとの報告があった。

今国会で保険証廃止法案が可決されたが、国民の中には医療を受けられなくなるケースも出てきたりするなど、性急な制度変更は問題があるとの意見もあった。

それに関連して、こここのところマイナンバーカードのトラブルが相次いで報道されているが、オンライン資格確認も医療の現場では多くのトラブルが生じており、対策を講じてほしいとの意見もあった。